

R6(2024)年度 第1回 須坂市地域公共交通会議 議事録

【日時】 2024年6月10日(月)午後2時00分から4時00分

【場所】 シルキービル 第2ホール

【議事概要】

1. 開会
2. 自己紹介
3. 役員選出について
4. 議事
 - (1)協議事項について
 - ① 令和5(2023)年度事業報告
 - ② 令和5(2023)年度事業歳入歳出決算について
 - ③ 令和6(2024)年度事業計画(案)について
 - ④ 令和6(2024)年度事業歳入歳出予算(案)について
 - ⑤ 市内公共交通の再編について
 - ⑥ 屋代線の減便について
 - (2)報告事項
 - ① 地域連携ICカードの導入について
 - ② 市民バスこども無料デーについて
 - ③ すざか市民バス・すざか乗合タクシーの利用状況について
 - ④ バスICカードくるるの利用状況について
5. その他
6. 閉会

[内 容]

1 開 会

欠席者の報告。

《出席25名（代理出席1名 随行1名 遅参2名 欠席2名）》

会議は公開。議事録作成のため、会議内容を録音。

2 自己紹介

事務局より順に自己紹介

3 役員選出について

須坂市地域公共交通会議設置要綱第5にて、監事2名を委員が互選。

立候補なしのため事務局より腹案提示。

監事について、「市民代表の清水委員」と「まちづくり推進部長滝澤委員」にお願いしたい。

➡異議なし。

4 議 事

(1) 協議事項

① 令和5(2023)年度事業報告

② 令和5(2023)年度事業歳入歳出決算について

【事務局：①・②について一括して説明。(会議資料P4～7)】

【委員より監査報告】

◆質問なし

➡協議事項①、②について承認

③令和6(2024)年度事業計画(案)について

④令和6(2024)年度事業歳入歳出予算(案)について

【事務局：③、④について一括して説明。(会議資料P8～10)】

【委員】

事業計画の地域公共交通確保維持改善事業の補助金交付申請はR7年ではなく、R6年。また、R7年から申請は事業者でなく、法定協議会で行うようになるので補足する。

【アドバイザー】

この会議が法定協議会になる。本来ならフィーダー系統の申請関係書類が今回の会議で示されるはずだが、示されていない理由はあるのか。

車両の更新、購入はやっていかなければならないことだが、市民バスが立ち上がった当初は、補助金はなかったが、現在は車両の公有民営であれば補助対象となる。予算書には補助金の掲載はないと思うが、補助金の見込みはあるのか。

【事務局】

今年度のフィーダー補助関係書類については、会議に間に合わせることはできなかった。今後書面協議をお願いしたい。車両の補助については、国の減価償却費補助で対応している。

➡協議事項③、④について承認

⑤市内公共交通の再編について

【事務局・説明(会議資料P11)】

【アドバイザー】

ICカードの集計、「時間別」というのは、決済された時間なのか。

【事務局】

決済時間で集計している。

【アドバイザー】

ICカードの集計について「時間帯別」で集計されているが、「便別」で集計結果が欲しい。市民バスの場合は、便の間隔が空いているので、便別で集計しても問題ない。運行の再編を考えると市民バスは台数が限られた中で、ダイヤ設定しているので、大きな変更はできない。電車との接続等、調整を主に行い、本数を増やすなどは基本的にはできない。

例えば7時55分に到着する便が、遅延した場合、決済自体は8時台になる可能性はあり、そうした場合に集計結果が変わってしまう。

また、ICカードの利用の割合はどのくらいなのか。2019年のコロナ前と現在ではそもそものICカードの利用率が違う可能性がある。定例報告の年間利用全体数はコロナ前に届いていなが、IC利用者比較では、7,000近くコロナ前よりも増えている。ICカードの比較はそもそもの利用割合を見ないと評価ができない。

2009年頃から市民バスルートは変わっていないが一定程度の受け入れはある。富士通の機能が失われ、須坂駅前イオンの拠点性が低下している。今後イオンが開業することや西回り周辺の商業施設に需要が集まっている点も考慮すると西回りメイン化は合理的である。ただ、須坂駅が目的地の方にとっては遠回りになり、朝の時間はスーパーがやっていない時間もある。時間帯によって西回りを通さない時間もありかもしれないが、そのためにも「時間帯別」でなく「便別」の集計が判断材料になる。

北相之島線は、短絡ルートにしてどれほどのメリットがあるのか。距離はそこまで長くないし、転回させる場所はあるのかなど、メリットと比較する必要がある。

3の利用促進策の自転車バスは、上り坂で自転車をバスに載せたいという心理はわかる。高校生から出たアイディアでおもしろいところで、坂道でバスを使いたいということでは分かるので、大人たちがどう受け止めていくか考える必要がある。

➡再度データ整備を行い、次回協議までに検討項目の整理を行う。

⑥屋代線の減便について

【事務局・説明(会議資料P11)】

【事業者から補足説明】

【委員】

学校からの意見収集や調整はどのように行ったのか教えてほしい。

【事務局】

実際の高校との調整は、各市で行った。須坂市は、昨年度から取り組んでいる「高校生ミーティング」のおかげで、各高校との連絡体制は整っており、情報提供および意見収集

することができた。高校生ミーティングの場でも、高校生本人に屋代線の減便について議論した経過がある。

【アドバイザー】

委託路線のような路線は、協議事項として適切だが、今回の屋代線は事業者が共同運行している路線で、かつ減便の話なのでこれは報告事項として扱う必要がある。

利用実態を見ると高校生が圧倒的に多い。そこで各高校の定員数を見たい。少子化で子どもの数は減っているが、路線の利用はそれなりに使われている状況だと、高校生利用をもっと重要視するべきとなる。高校の定員数が一つリトマス試験紙となり、判断する指標となる。

距離も長いし、本数もそれなりの路線なので、利用者が減って補助を受けられず廃線とならないように注視していく必要がある。高校生利用がメインになっているのでなおさらである。

【委員】

時刻表は、長野市と千曲市の協議が終わるまで確定できるものではないので、ご承知置きいただきたい。

➡報告事項として変更。

(2) 報告事項

①地域連携ICカードの導入について

【事務局：①について説明。(会議資料P12)】

【アドバイザー】

昼割は維持するということで大丈夫か。

【事務局】

系統別運賃から50円引きの設定とし、そのまま引き継ぐ。

②市民バスこども無料デーについて

【事務局：②について説明。(会議資料P12)】

【アドバイザー】

自宅の近くから、駅に乗ってもらう。サスガバスは、お金を取って運行したが、「駅に来れば乗れる」という分かりやすさがあった。今回は、家の近くのバス停を探すことから始まるので、ハードルはすこし上がる。「家の近くから乗る」ところで、今後工夫が必要でないか。

③すざか市民バス・すざか乗合タクシーの利用状況について

④バスICカードくるるの利用状況について

【事務局：③・④について一括して説明。(会議資料P13～17)】

【アドバイザー】

乗合タクシーのキャンセル数については、整理する必要がある。もともと、行きと帰りに予約数の乖離があり、帰りは何かしらの予定(病院が長引いたなど)があり使われていない。キャンセルを減らすことを考えるのではなく、キャンセルした後の利用客の動きを見ていき、「どう救っていくか」を考えたい。キャンセルした次の一便で救えるならば問題ないが、実態としてはそうでないかもしれない。帰り便は使えないという認識になれば、公共交通としての信頼が失われるので、今後の在り方について考えていく必要がある。

ICカードの利用の中で、定期券の利用がここ2, 3年増えていたが、直近のデータを見ると少し落ち着いてきた感覚がある。Googlemapでバス経路が検索できるようになり、定期利用に繋がった見方もできるが、石の上にも3年ということで、ここ最近は頭打ちになってきたのではないか。再編の話もあったが「誰に使ってもらうのか」をこういったデータからうまく読み解き、プロモーションしていくことが大事。

【委員】

屋代線の上り8時台が減便対象だが、自分の感覚では、使われている便だと思う。その次の便を減便の対象にするのが合理的ではないか。

【委員】

乗降数をデータとして見て、なるべく影響の少ない便を減便の対象とした。

【アドバイザー】（全体をまとめて）

公共交通計画を策定して、この度の再編案として出てきたわけだが、再編が目的ではなく、何かを実現するための手段である。西回りの沿線については、まちも変わってきている。今回は便別のデータがないので、データに基づいての議論は不十分なところがあるが、まちの変化に合わせた再編ということは考えていく必要がある。

普段須坂にいる委員の皆さんが、よく観察していただき、再編についてのご意見を事務局へお寄せいただきたいと思います。

5 その他

◆全体を通しての意見

【委員】

長野電鉄の券売機で、SUICAが使えて感動した。自動改札機の設備投資は高額になるため、こうした券売機でのキャッシュレス化は、合理的なやり方で良いかと思う。

【委員】

タッチでゴーという形ではないが、今後もこうしたキャッシュレス化の流れは考えていかなければならない。どうしても導入には大きな金額がかかる。熊本ではICカードを廃止にするという議論もあり、どのように展開していくことが今後最適なのかを考えていきたい。

【委員】

利用者数の多い、医療センターのバス停に雨風しのげるような設備やベンチが必要だ
と思うが、今年度の予算に組み込まれているのか。

【事務局】

今年度も、早速、仙仁線沿線で2台のベンチを修繕予定であり、隙あらば他の停留所
にもベンチも置いていく。雨風しのぐ設備については、金額と相談になる。昨年度で言
えば、春木町のバス停は「片バス停」であったが、社会福祉協議会の前にバス停を設置し
たことで、上屋の下にバス停を設置し、片バス停も解消した。

ちなみに医療センターには、室内型のバス待合室は完備されている。

6 閉会